

## 上野高校 O.B.佐保田誠一さん「入院費」カンパのお願い

2006年12月4日

スキー研究会 F 代 佐保田誠一さんの友人の皆様へ

佐保田誠一さんは2000年春より職場を海外に求め香港、中国広東省でプラスチック成型等の仕事をしていました。新中国事務所の所在地を広東省東莞市長安町に今春より移転し、本格稼動を始めました。11月16日誠一さんは、仕事のために中国から香港に向かう電車の中で「クモ膜下出血」を起こし香港の病院「Prince of Wales Hospital」に緊急入院しました。緊急手術の結果一命は取り止めました。

日本の家族や友人への連絡、香港や中国在住の友人等に即日連絡が取れましたが、残念ながら昨日現在(12月3日)意識が戻っていません。誠一さんが倒れた翌日(11月17日)から香港の病院で看病していた母親(トミヨさん)、妹(文子さん)は、病院関係者並びに香港日本領事館の薦めもあり12月1日に一時帰国をしました。

誠一さんの病状説明を母親さんと妹さんから伺っている時に治療費の話に触れました。現地の病院「Prince of Wales Hospital」の入院治療費は日本と比較にならない高額医療費です。(一日23万円×入院日数)

香港日本領事館の弁護士さんから治療費の支払いに関してアドバイスを受けたところ、香港では誠一さん自身の友人関係や個人的な信頼関係を非常に重んじるそうです。私ども友人として出来ることは、一人でも多くの支援者の名前とお気持ちだけで結構です。そのための「カンパ」をお願いする次第です。

多数の友人からの激励の署名があれば香港当局も治療費減額の方角に働いてくれるそうです。(11月29日までの治療費入院費はすでに300万円を超えています。)

皆様方からの「カンパ」は一口1000円としますが何口でも結構です。

尚、上述のとおり皆様の署名(カンパ送金は、一括でも結構ですがお一人でも多くの方の署名が必要です。ご家族及びご友人の署名をお願いします)が必要です。カンパを送金された方は下記の「署名臨時メールアドレス」又は「署名臨時事務局」までお名前ご住所並びにお電話番号を明記の上必ずご送信ください。佐保田誠一さんの一日も早い回復をお祈りします。

(友人代表) 斉藤裕二 林 文隆 大野憲一 小林正美 相坂雅彦  
黒川昌亮 田中 諭

---

(振込み先)	(署名臨時事務局)	(署名臨時メールアドレス)
みずほ銀行 稲荷町支店	株式会社市場	丹野文子(旧姓 佐保田文子)
普通口座 1685797 佐保田誠一	FAX03-5454-3862	fumiko@ogata.or.jp